

南部14年式拳銃

TYPE "N3"

CP-BLOWBACK SYSTEM

【東京造兵廠製】前期型 / 【名古屋造兵廠製】後期型

8mm NAMBU SEMIAUTOMATIC MILITARY PISTOL

DATA (LATER VERSION) ●Caliber: 8mm Japanese CP ●Length: 230mm
 ●Barrel length: 117mm ●Weight-unloaded: 820g ●Magazine capacity: 7+1 (chamber)
 ●Powder: 5mm cap ●Firing mechanism: CP-blowback ●Firing mode: Semiautomatic
 ●Material: Zinc alloy

ご使用になる前に、必ず最後までお読みください。



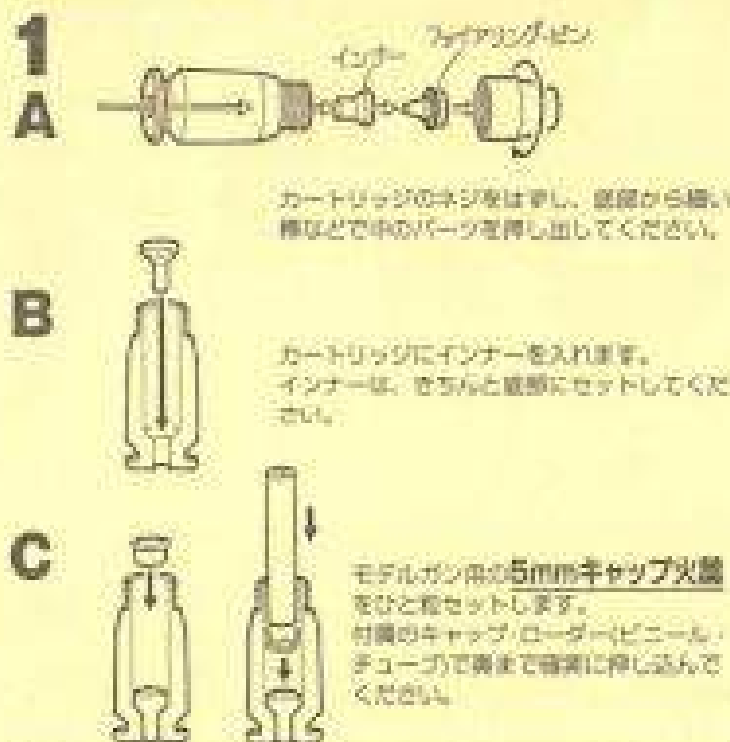
注意

★モデルガンは、撃発、鑑賞、コレクション、分解、組立等を楽しむためのホビーで、弾丸の発射はできません。また改造を防ぐ意味で安全設計がされており、必要以上の強度はありません。このため、火薬量をふやしたり、無理な操作をすると破損する場合もあり大変危険です。十分ご注意ください。

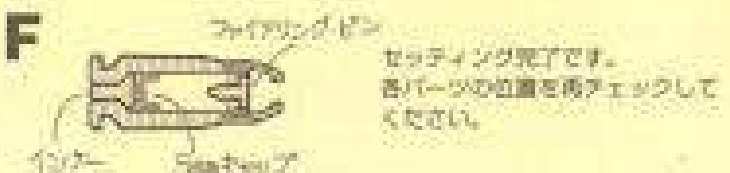
★事故防止のため、特に▲マークの箇所はよく読み、取り扱いにご注意ください。この注意を守らないと、重大な損害や身体の負傷の恐れもあります。また、誤った使用や改造等による故障、事故について、当社は一切の責任を負いません。予めご了承ください。

操作

【火薬の装填】



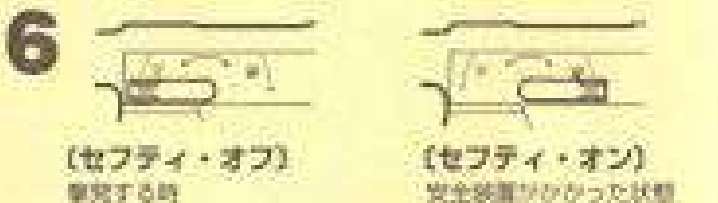
- 注意**
- 上記キャップ火薬及びローダー以外のは、絶対に使用しないこと。
 - 火薬部分を使い捨てでつくると暴発の危険があります。ご注意ください。
 - 火薬を詰める時、万一の暴発に備えて顔を近づけないこと。またキャップ・ローダーの穴は指でふさがないこと。
 - インナー、キャップ火薬がきちんとカートリッジ底部にセットされていないと、送弾時に暴発する危険があります。ご注意ください。



【カートリッジの装填】



【セフティ】



- ★安全装置をかけた状態で、トリガー(引き金)を強引に引かないでください。無理をするとパーツを破損する場合があります。
- ★撃発しない時は、常に安全装置をかけておきましょう。

【撃発】

7



トリガーを引くことで、撃発、ブローバック、閉鎖、送弾が自動的に繰り返されます。

★トリガーを極端につまみ引くと、機構上異常になってしまう場合があります。トリガーは、できるだけ優しく引き切ってください。



注意

- 撃発するとボルトが勢いよく下がるので、銃に顔や手を近づけないこと。
- カートリッジは、撃発後ほぼ真上に向かって勢いよくエジェクトされます。顔や手、天井の照明や汚れ落としものに十分ご注意ください。
- 撃発時には大きな音があります。周りに人がいる時は、予め合図などをして安全を確認すること。

こんな時は・・・ **故障ではありません。**

- 排莖不良・・・カートリッジが引っかかって送弾しない時は、マガジンを抜き、ボルトを引いて取りだしてください。
- 不完全閉鎖・・・送弾不良でボルトが閉鎖しきれない時は、ボルトを無理に押さず、マガジンを抜いて再度カートリッジを取りだし、装填し直してください。
- 不発・・・不発のカートリッジを装填し直し、撃発させてください。数回試しても発火しない時は、水中でカートリッジを分解してください。

【ボルト・ストップ】

8



全弾撃ち終ると、ボルトが下がったままの状態にストップし、弾切れを知らせます。マガジン・キャッチを押し、マガジンを抜くと、ボルトは自動的に戻ります。

【マガジン・セフティ】

9

マガジンを抜いた状態では、マガジン・セフティがかかる為撃発できません。

★マガジンを抜いた状態で、トリガーを強引に引かないでください。損傷するとパーツを交換する場合があります。

【手動による装填・排莖】

10

カートリッジをチェンバーに送弾したら、必ずトリガーを引き、カートリッジを抜いてからボルトを引いて排莖させてください。

★手動の場合、特に注意しない場合がありますが、これは異常ではありません。

撃発後は、必ず手入れをしてください。

★撃発後そのまま放置しておくと、錆や汚れなどで作動不良を起こすだけでなく、故障の原因ともなります。1発でも発火させたら、分解しクリーニングしてください。

★手入れには、シリコン系かテフロン系のオイルをご使用ください。CRCなど金属用のオイルや錆・汚れ落としは、使用できませんのでご注意ください。



注意

●クリーニングのためには分解が必要ですが、工具の硬さにより、けがをする場合があります。十分ご注意ください。

【カートリッジのクリーニング】

11



カートリッジは、1回撃発させるごとに分解し、水洗いしてください。水分は完全にふき取り、薄くオイルをひいておきましょう。

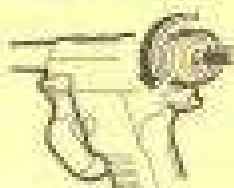
【本体のクリーニング】

12



分解する前にマガジンを抜き、ボルトを引いて残弾がないか確認してください。マガジンを戻し、トリガーを引いて撃発し、再度マガジンを抜いてください。

13

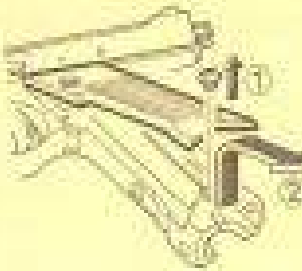


エクステンションを押し込みながら、ゴッキング・ピースを左へ回し、はずしてください。



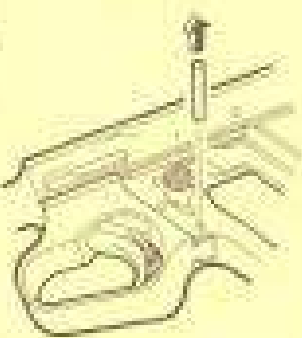
エクステンションとファイアリング・スプリングを抜き取ってください。

14

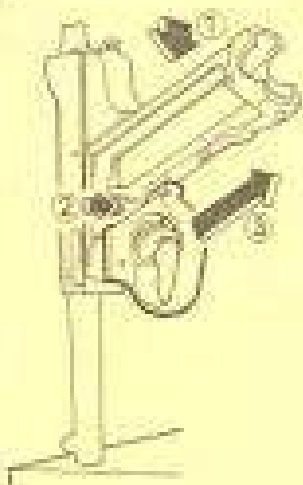


グリップ・スクリーをはずし、グリップを元の向きに戻します。グリップは、上部が本体と組み合っているため、下部を引っ上げてから下方へ抜いてください。

15

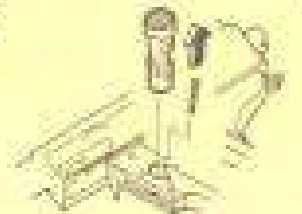


フレーム・ピンを抜いてください。



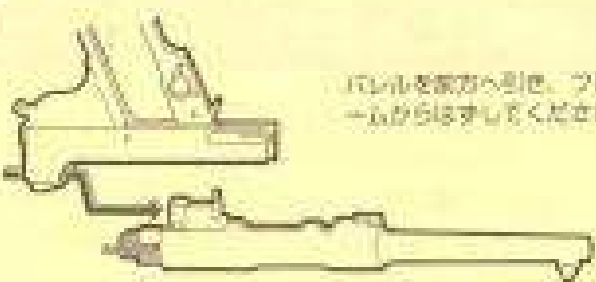
銃口を前などに押しつけ、マガジン・キャッチを押し込みながら、トリガー・ガードをスライドさせてはめます。

16



マガジン・キャッチ、マガジン・キャッチ・スプリングをはずしてください。

17



バレルを前方へ引き、フレームからはずしてください。



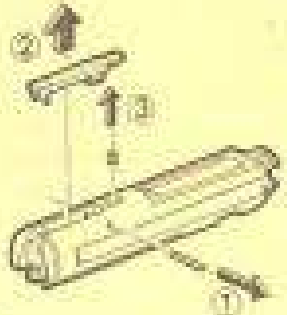
ロックンブ・スプリングをはずしてください。

18



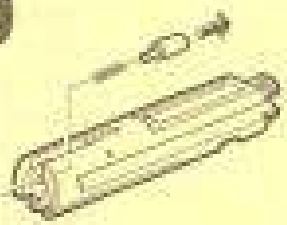
ボルトを抜き、ストライカー・レコイル・スプリングをはずしてください。

19



エクストラクター・ピンを抜き、エクストラクター、エクストラクター・スプリングをはずしてください。

20

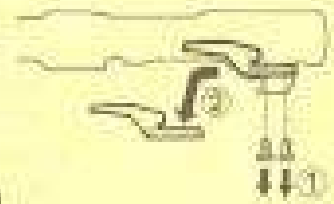


ファイアリング・ブロックを前方へ押しはめし、リターン・スプリングを引っ張り抜いてください。

21

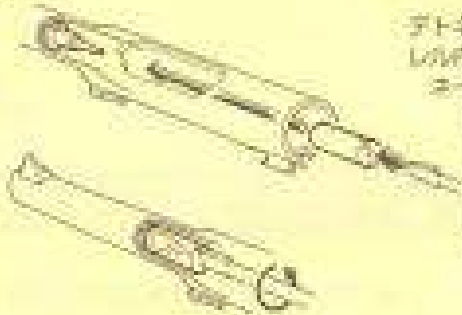


ロックンブ・ブロックを前方へ押しはめし、はずしてください。



エジェクター・スクリー、エジェクターをはずしてください。

22



デトネーター・ジグをバレル内にセットし、デトネーターと筒底を組み合わせてください。ドライバーでジグを左へ回すと、デトネーターがはずれます。

23

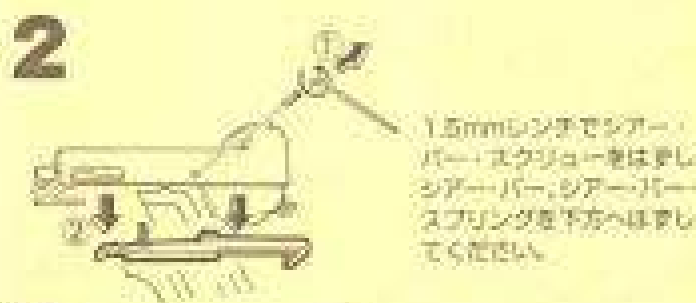


バレル内、デトネーターは水洗いし、完全に乾かしてから薄くオイルをひいてください。ファイアリング・ブロック、エクストラクター、ストライカー、エジェクター、ボルト、スプリング類、マガジンを中心に、十分にクリーニングしてください。オイルは薄くつけ、布でよく拭きとっておきましょう。

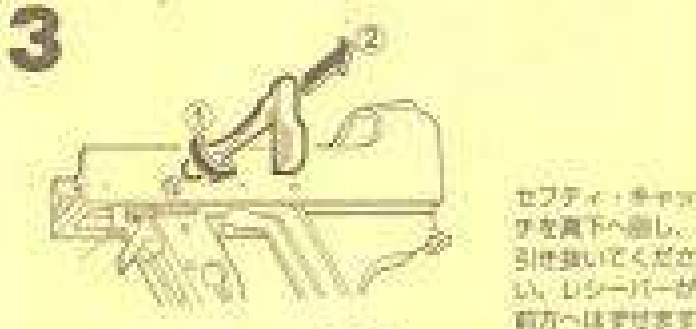
細部の分解



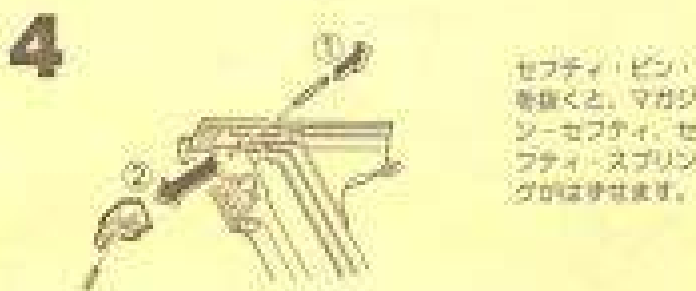
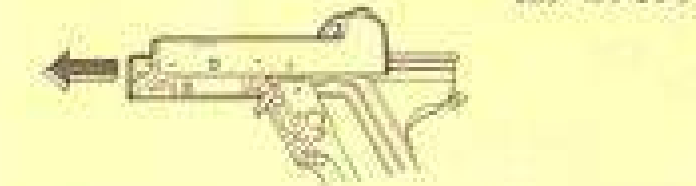
トリガー・ピンを抜き、トリガーを上方へはさしてください。
トリガー・シアー・ピンを抜くと、トリガー・シアーとトリガー・シアー・スプリングがはずれます。



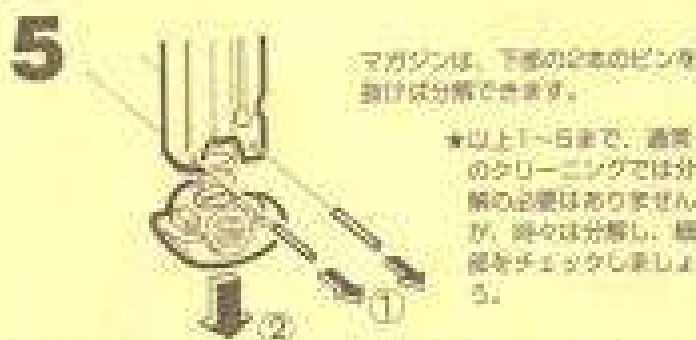
1.5mmレンチでシアー・バー・スクローをはずし、シアー・バー、シアー・バー・スプリングを下方へはさしてください。



セフティ・キャッチを真下へ押し、引き抜いてください。リシーバーが前方へはずれます。

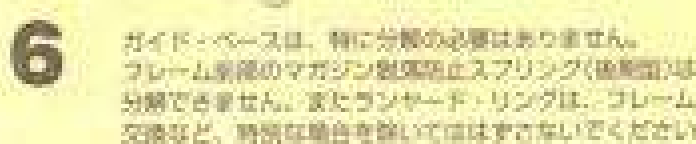


セフティ・ピンを抜くと、マガジン・セフティ、セフティ・スプリングがはずれます。



マガジンは、下部の2本のピンを抜けば分解できます。

★以上1～5まで、通常のクリーニングでは分解の必要はありませんが、時々分解し、細部をチェックしましょう。



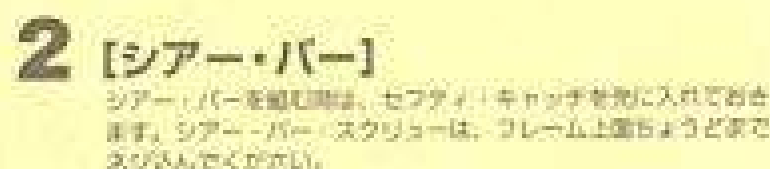
ガイド・ベースは、特に分解の必要はありません。フレーム前部のマガジン制動止スプリング(後部)は、分解できません。またランヤード・リングは、フレーム交換など、特別な場合を除いてはずさないでください。

組立のポイント

★組み立ては、クリーニングで行った分解を正確に逆にたどってください。ここではポイントのみ記しておきます。
★スクリューは、きつく締めすぎないでください。



マガジン・セフティを組む時は、セフティ・スプリングを予めマガジン・セフティでセットしておき、スプリングを押し縮めながら穴を合わせてピンを打ち込みます。組んだら、必ず動きをチェックしてください。



シアー・バーを組む時は、セフティ・キャッチを先にに入れておきます。シアー・バー・スクローは、フレーム上部ちょうどまでネジ込んでください。



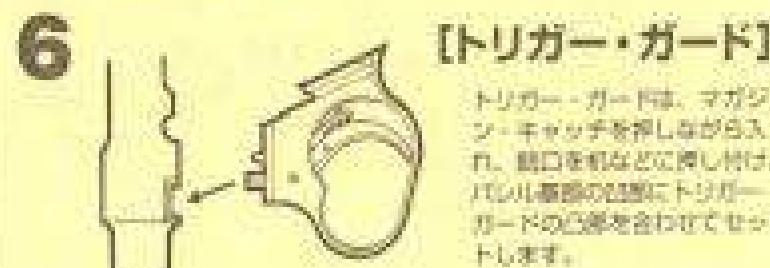
デトネーターは、芯を合わせてググにセットしてバレル内へ入れ、ドライバーで締めてください。



ファイアリング・ブロックのピンは、ボルト先端の穴に確実に通してください。エキステンション取付後、ストライカーを通し、押し込んでピンが前後に動くか確認してみましょう。



フレームとバレルをセットする時は、ロックング・スプリングと、ロックング・ブロックの足の部分を合わせてください。



トリガー・ガードは、マガジン・キャッチを押しながら入れ、開口を前などに押し付け、バレル基部の凹部にトリガー・ガードの凸部を合わせてセットします。

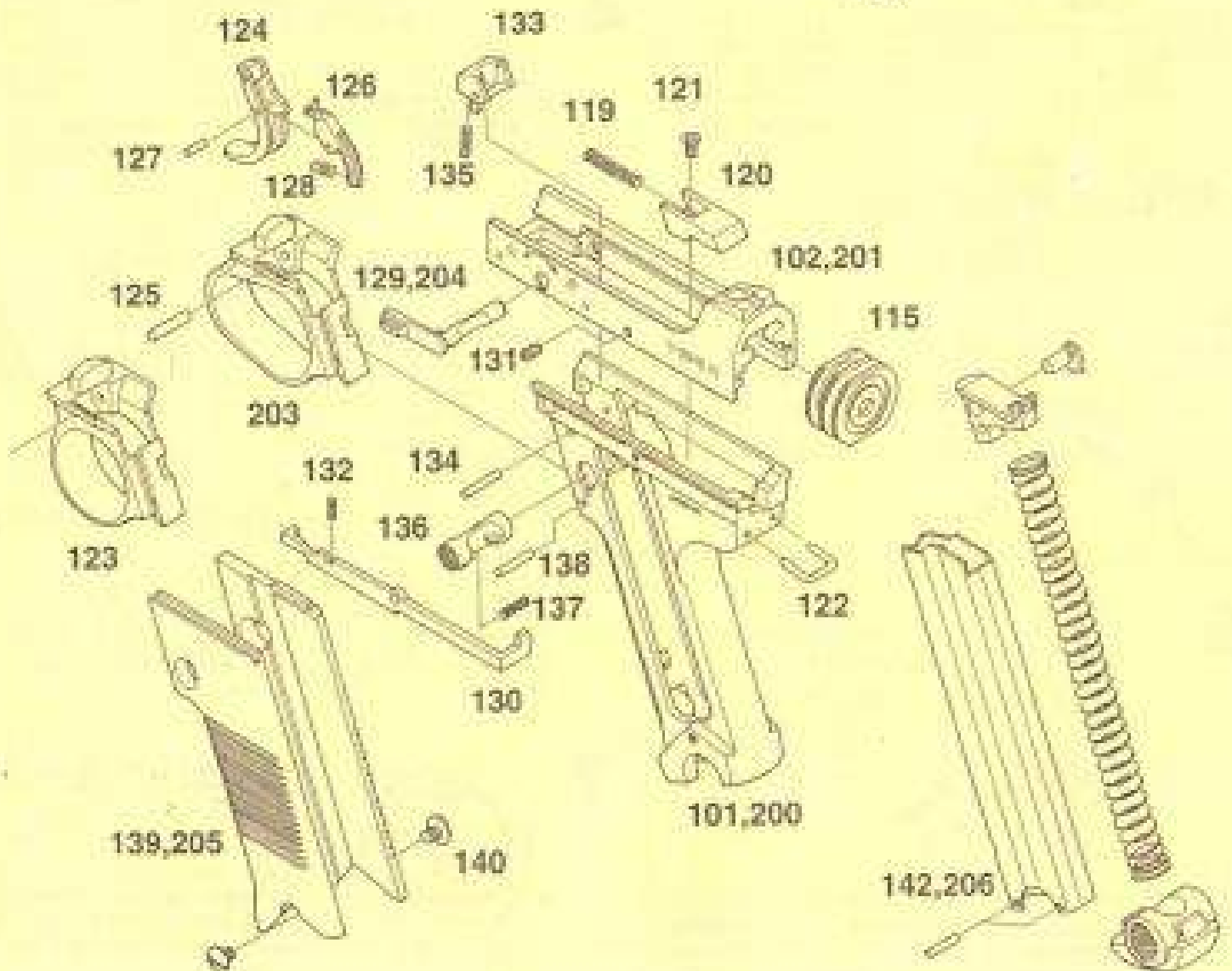
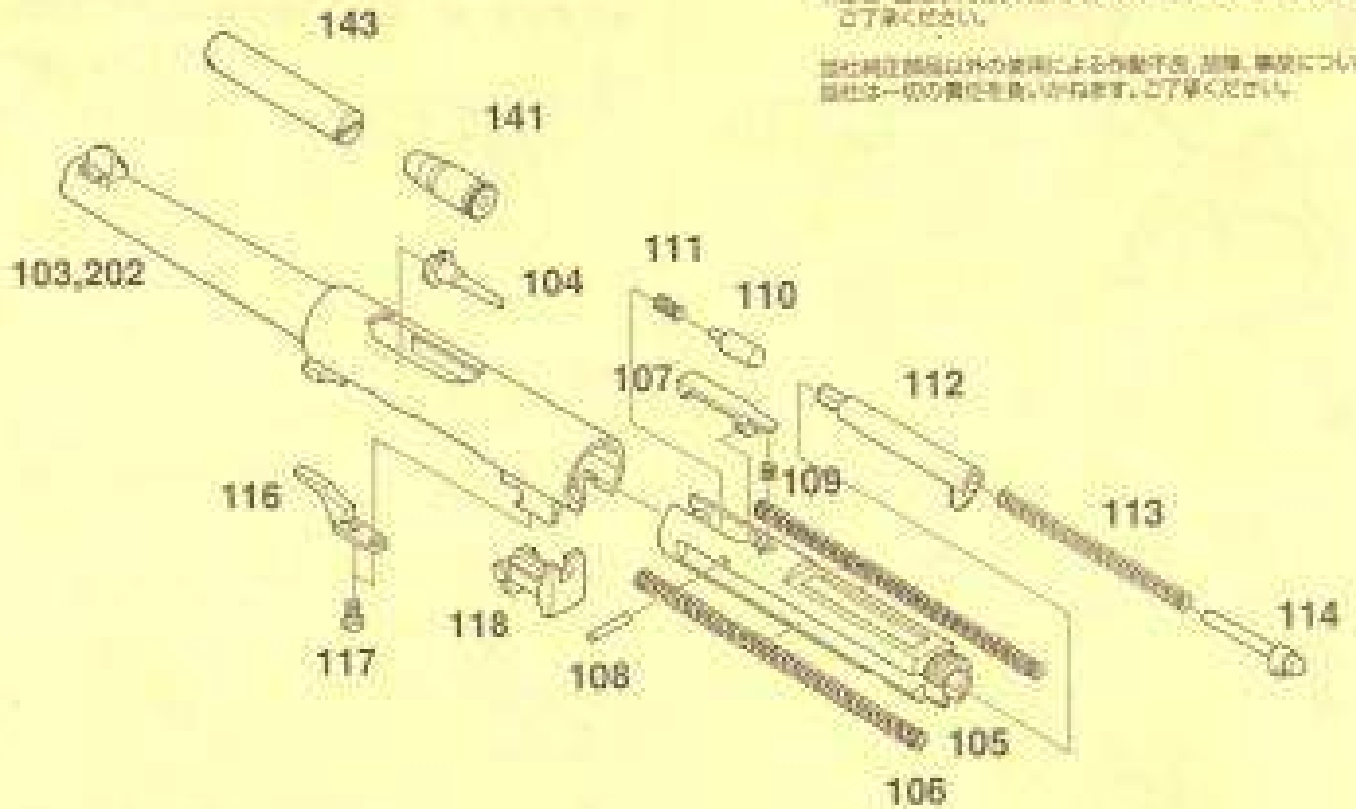


エキステンションとコッキング・ピースは、奥の位置で合わせてボルトにはめ、エキステンションを押し込んだ状態から込みます。最後まで締めたらエキステンションを回し、コッキング・ピースを奥に回すとロックできます。

南部14年式拳銃 前期/後期型 パーツ・リスト

●この表示は、07年5月現在のもので、
 ●仕様、図等は、改良の為、予告なく変更することがあります。
 ●ご了承ください。

●指定部品以外の使用による作動不良、故障、事故について、
 当社は一切の責任を負いません。ご了承ください。



101	フレーム/前期	¥4,000
102	レシーバー/前期	¥4,200
103	バレル/前期	¥5,500
104	トリネーター CP	¥1,500
105	ボルト	¥3,000
106	レコイル スプリング (x2)	1ヶ ¥800
107	エキストラクター	¥1,250
108	エキストラクターピン	¥200 2x12
109	エキストラクター スプリング	¥100
110	ファイアリング ブロック	¥500
111	リターン スプリング	¥100
112	ストライカー	¥800
113	ファイアリング スプリング	¥200
114	エキステンション	¥600
115	コッキングベース	¥1,000
116	エジェクター	¥1,400
117	エジェクター スクリュー (x2)	1ヶ ¥100 M3x8F
118	コッキング ブロック	¥1,000
119	コッキング スプリング	¥150
120	ガイドベース	¥800
121	ガイドベース スクリュー	¥100 M3x5E
122	ランガードリング	¥400
123	トリガーガード/前期	¥2,500
124	トリガー	¥800
125	トリガーピン	¥250 3x16
126	トリガーシアー	¥600
127	トリガーシアーピン	¥150 1.5x3
128	トリガーシアー スプリング	¥100
129	セフティキャッチ/前期	¥850
130	シアーバー	¥1,200
131	シアーバー スクリュー	¥100 M3x8-F
132	シアーバー スプリング	¥100
133	マガジンセフティ	¥650
134	セフティピン	¥200 2x15

135	セフティスプリング	¥100
136	マガジンキャッチ	¥800
137	マガジンキャッチ スプリング	¥100
138	フレームピン	¥200 2x16
139	木製グリップ/前期 (左右セット)	¥4,500
140	グリップスクリュー (x2)	1ヶ ¥300
141	CPカートリッジ (既成セット)	¥1,800 270
142	マガジンASSY/前期	¥2,800
143	トリネーターシグ	¥1,000

[後期型専用パーツ]

200	フレームASSY/後期	¥4,800
201	レシーバー/後期	¥4,200
202	バレル/後期	¥5,500
203	トリガーガード/後期	¥2,800
204	セフティキャッチ/後期	¥850
205	木製グリップ/後期 (左右セット)	¥4,500
206	マガジンASSY/後期	¥3,000

[オプション]

本製ホルスーク	¥4,500
キャップローダー	¥100
カートリッジリング (既成セット)	¥100

¥7000

★キャップ火薬は、お近くのホビー・ショップ、モデルガン・ショップ
等でお求めください。

★当社の製品、パーツ等をお求めの場合は、上記のショップまたは通信販売をご利用ください。直営の店社は、ご来店くださるようお願い致します。

故障かな?と思う前に…もう一度チェックしてみよう!

【ブローバックに勢いが無い時】

★クリーニングしても変わらない時は、カートリッジ内のリングを交換してください。リングは消耗品で、場合によっては上面の膜で切れてしまうこともあります。こまめにチェックしましょう。リングへのオイルも忘れずにつけてください。

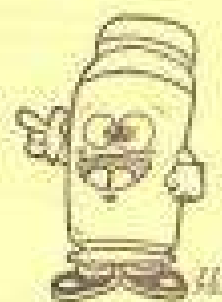
★カートリッジの使いすぎも排気不良などの原因となります。痛みが激しい場合は交換してください。

【暴発する時】

★カートリッジ内のセッティングを再チェックしてください。インナーが浮いていると暴発することがあります。

★トリガーをゆっくり引きすぎると、機構上、誤射される場合があります。トリガーは、一気に引き切る癖にしてください。

★ボルトを引き、初弾をチャンバーに送り込む際、ごく稀にカートリッジとボルトの合いが悪く、暴発することがあります。この様な時は、マガジンリップを開くなどの調整を行い、スムーズな装填ができる様にしてください。



Qほとんどどのトラブルは、クリーニングとパーツのチェック、交換で解決できるものです。パーツの汚れ、摩耗や変形には、常に気をつけるよう心がけましょう。

マナー



必ず守ってください。

マナーで守ろう！モデルガン市民権！

【銃の取り扱いについて】

1. 銃口を人に向けない。
2. 発射時以外は、トリガー(引き金)に指をかけない。
3. カートリッジをチェンバー(薬室)に入れたままにしない。
4. 安全対策部分(銃身のインサートなど)を加工しない。
5. その他、悪用したり誤解されるような行為をしない。

【火薬の使用について】

6. 指定された種類、量を守る。
7. 火薬だけをほくしたり、集めたりしない。
8. カートリッジに火薬を詰めたままにしない。
9. モデルガン以外に使用しない。
10. 持ち運びにも注意する。
11. その他、悪用したり危険なことをしない。



“N3” と呼ぼう!

◎南部14年式は、当社のモデル中、最も古くから愛されてきた製品のひとつで、大幅なモデル・チェンジだけでも7回に及びます。今回もBLK作動最優先の課題をうけ、CP方式を採用するなど、各部を完全新設計しました。そこで旧作との混同を避ける為、以下の様な『呼称』による大別を行うこととなりました。

- タイプ“N1”** ●52年規制以後の14年式後期型モデル (オプション・前期トリガー・ガードあり)
- タイプ“N2”** ●「平90.10」刻印のレシーバー/フレーム分離型「東京砲兵工廠」前期型モデル
- タイプ“N3”** ●今回のCPモデル

規制以前のモデルに関しては、数が多くなりすぎること、絶版より期間がたっている理由から削除しました。今後、このCP方式の新作は「N3前期型」「N3後期型」と呼ぶこととさせていただきます。製品のお問い合わせやパーツのご注文の際は、ぜひお役立てください。

通信販売をご利用ください。

- 商品名、住所、氏名、Telを明記の上、品代金+送料を現金書留か為替でハドソン産業通信販売部へお送りください。
- パーツをお求めの場合は、銃名称(本製品の場合14年式N3前期型またはN3後期型)、パーツNo.、パーツ名を必ず明記してください。

●送料は、部品的大小、重量、個数によって変わります。下記の料金表を目安にお送りください。

100gまで	190円	500gまで	390円
250gまで	270円	500g以上	1,000円

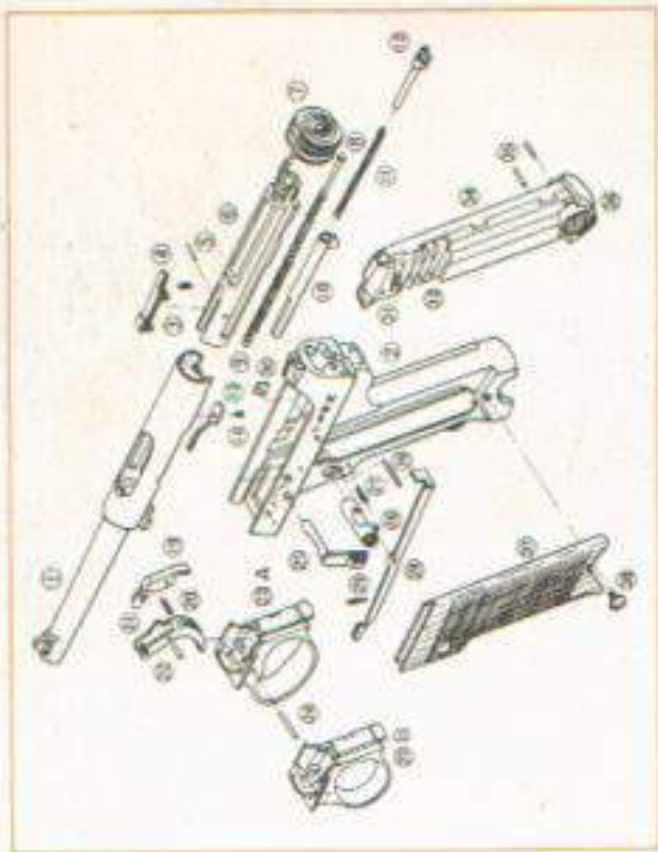
●品代金¥2,000以下の場合、切手代用で結構です。

●10,000円以上をご注文の場合に限り、代金着払いを承ります。ただし、代金着払いにてのご注文は、ファックス及び葉書、封書に限ります。(18才未満の方は、保護者の承諾が必要です。認め印、署名等) 尚、送料はサービスとなりますが、着払いには手数料が加算されますのでご了承ください。 **FAX 03-5261-1186**

南部14年式拳銃



¥4,000 下 300
 発火モジュール 装弾数7発
 全長23cm 重量850g
 材質 ダイカステ



1910年頃、世界銃器界がこぞって自動拳銃の製作をはじめたのに刺激された日本も、これまで制式拳銃であった回転式26年式拳銃にかわるものとして南部銃次郎陸軍中將が完成した南部式自動拳銃を広く軍用に使える拳銃として改良して新しい拳銃を完成、これが大正14年(1925)に陸軍に制式採用されたのは14年式自動拳銃とよばれています。

14年式拳銃はそれから太平洋戦争の終りまで、相当地が過兵廠や民間工場でつくられ、各地の戦場で兵士と共に戦いました。細く長い銃身、握りやすい独特のグリップなど、日本人向きなスタイルや、命中率のよさから、いまでも世界中のコレクターから高く評価されている名拳銃です。

南部14年式拳銃 部品表

1	バレル	¥ 140	13	スライド	¥ 140	29	トリガー	¥ 20
2	フレーム	¥ 200	14	マガジン	¥ 200	30	マガジン	¥ 20
3	マガジン	¥ 100	15	マガジン	¥ 100	31	マガジン	¥ 20
4	マガジン	¥ 20	16	マガジン	¥ 20	32	マガジン	¥ 20
5	マガジン	¥ 20	17	マガジン	¥ 20	33	マガジン	¥ 20
6	マガジン	¥ 400	18	マガジン	¥ 20	34	マガジン	¥ 20
7	マガジン	¥ 150	19	マガジン	¥ 20	35	マガジン	¥ 20
8	マガジン	¥ 50	20	マガジン	¥ 20	36	マガジン	¥ 20
9	マガジン	¥ 40	21	マガジン	¥ 100	37	マガジン	¥ 20
10	マガジン	¥ 100	22	マガジン	¥ 100	38	マガジン	¥ 20
11	マガジン	¥ 40	23	マガジン	¥ 100	39	マガジン	¥ 20
12	マガジン	¥ 40	24	マガジン	¥ 100	40	マガジン	¥ 20
13	マガジン	¥ 40	25	マガジン	¥ 100	41	マガジン	¥ 20
14	マガジン	¥ 40	26	マガジン	¥ 100	42	マガジン	¥ 20
15	マガジン	¥ 40	27	マガジン	¥ 100	43	マガジン	¥ 20
16	マガジン	¥ 40	28	マガジン	¥ 100	44	マガジン	¥ 20
17	マガジン	¥ 40	29	マガジン	¥ 100	45	マガジン	¥ 20
18	マガジン	¥ 40	30	マガジン	¥ 100	46	マガジン	¥ 20
19	マガジン	¥ 40	31	マガジン	¥ 100	47	マガジン	¥ 20
20	マガジン	¥ 40	32	マガジン	¥ 100	48	マガジン	¥ 20
21	マガジン	¥ 40	33	マガジン	¥ 100	49	マガジン	¥ 20
22	マガジン	¥ 40	34	マガジン	¥ 100	50	マガジン	¥ 20
23	マガジン	¥ 40	35	マガジン	¥ 100	51	マガジン	¥ 20
24	マガジン	¥ 40	36	マガジン	¥ 100	52	マガジン	¥ 20
25	マガジン	¥ 40	37	マガジン	¥ 100	53	マガジン	¥ 20
26	マガジン	¥ 40	38	マガジン	¥ 100	54	マガジン	¥ 20
27	マガジン	¥ 40	39	マガジン	¥ 100	55	マガジン	¥ 20
28	マガジン	¥ 40	40	マガジン	¥ 100	56	マガジン	¥ 20
29	マガジン	¥ 40	41	マガジン	¥ 100	57	マガジン	¥ 20
30	マガジン	¥ 40	42	マガジン	¥ 100	58	マガジン	¥ 20
31	マガジン	¥ 40	43	マガジン	¥ 100	59	マガジン	¥ 20
32	マガジン	¥ 40	44	マガジン	¥ 100	60	マガジン	¥ 20
33	マガジン	¥ 40	45	マガジン	¥ 100	61	マガジン	¥ 20
34	マガジン	¥ 40	46	マガジン	¥ 100	62	マガジン	¥ 20
35	マガジン	¥ 40	47	マガジン	¥ 100	63	マガジン	¥ 20
36	マガジン	¥ 40	48	マガジン	¥ 100	64	マガジン	¥ 20
37	マガジン	¥ 40	49	マガジン	¥ 100	65	マガジン	¥ 20
38	マガジン	¥ 40	50	マガジン	¥ 100	66	マガジン	¥ 20
39	マガジン	¥ 40	51	マガジン	¥ 100	67	マガジン	¥ 20
40	マガジン	¥ 40	52	マガジン	¥ 100	68	マガジン	¥ 20
41	マガジン	¥ 40	53	マガジン	¥ 100	69	マガジン	¥ 20
42	マガジン	¥ 40	54	マガジン	¥ 100	70	マガジン	¥ 20
43	マガジン	¥ 40	55	マガジン	¥ 100	71	マガジン	¥ 20
44	マガジン	¥ 40	56	マガジン	¥ 100	72	マガジン	¥ 20
45	マガジン	¥ 40	57	マガジン	¥ 100	73	マガジン	¥ 20
46	マガジン	¥ 40	58	マガジン	¥ 100	74	マガジン	¥ 20
47	マガジン	¥ 40	59	マガジン	¥ 100	75	マガジン	¥ 20
48	マガジン	¥ 40	60	マガジン	¥ 100	76	マガジン	¥ 20
49	マガジン	¥ 40	61	マガジン	¥ 100	77	マガジン	¥ 20
50	マガジン	¥ 40	62	マガジン	¥ 100	78	マガジン	¥ 20
51	マガジン	¥ 40	63	マガジン	¥ 100	79	マガジン	¥ 20
52	マガジン	¥ 40	64	マガジン	¥ 100	80	マガジン	¥ 20
53	マガジン	¥ 40	65	マガジン	¥ 100	81	マガジン	¥ 20
54	マガジン	¥ 40	66	マガジン	¥ 100	82	マガジン	¥ 20
55	マガジン	¥ 40	67	マガジン	¥ 100	83	マガジン	¥ 20
56	マガジン	¥ 40	68	マガジン	¥ 100	84	マガジン	¥ 20
57	マガジン	¥ 40	69	マガジン	¥ 100	85	マガジン	¥ 20
58	マガジン	¥ 40	70	マガジン	¥ 100	86	マガジン	¥ 20
59	マガジン	¥ 40	71	マガジン	¥ 100	87	マガジン	¥ 20
60	マガジン	¥ 40	72	マガジン	¥ 100	88	マガジン	¥ 20
61	マガジン	¥ 40	73	マガジン	¥ 100	89	マガジン	¥ 20
62	マガジン	¥ 40	74	マガジン	¥ 100	90	マガジン	¥ 20
63	マガジン	¥ 40	75	マガジン	¥ 100	91	マガジン	¥ 20
64	マガジン	¥ 40	76	マガジン	¥ 100	92	マガジン	¥ 20
65	マガジン	¥ 40	77	マガジン	¥ 100	93	マガジン	¥ 20
66	マガジン	¥ 40	78	マガジン	¥ 100	94	マガジン	¥ 20
67	マガジン	¥ 40	79	マガジン	¥ 100	95	マガジン	¥ 20
68	マガジン	¥ 40	80	マガジン	¥ 100	96	マガジン	¥ 20
69	マガジン	¥ 40	81	マガジン	¥ 100	97	マガジン	¥ 20
70	マガジン	¥ 40	82	マガジン	¥ 100	98	マガジン	¥ 20
71	マガジン	¥ 40	83	マガジン	¥ 100	99	マガジン	¥ 20
72	マガジン	¥ 40	84	マガジン	¥ 100	100	マガジン	¥ 20

1点から10点まで送料は ¥50

操作

弾丸の頭部に紙部管数コをつめたら、マガジン
フリアボタンを下げながら一発づつ合計8発装填
し、マガジン下方から差しこみます。

次に右手でマガジンを握り、左手でコッキング
ピース（結合子）をつかんで後方に引きもどすと、
銃身はショートリコイルした位置に後退し、右手
をはなすとボルトは元にもどり、そのとき第一弾
が薬室に戻りこめます。

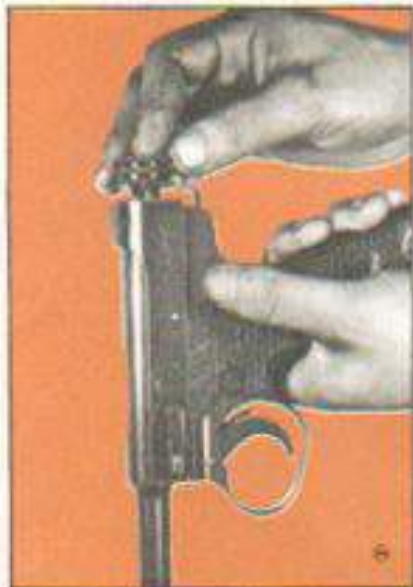
引鉄を引くとボルトの中の撃針の先端が弾丸の
底部を強くたくたくので、鋼鉄のインサートにぶつ
かって発火します。

発火後、ふたたびコッキングピースを引くと、
ボルトが後退し、同時にユキキストラクターが空薬
莢をひっかけた薬室から外に蹴りだします。手を
はなせば、第二弾が装填されます。空弾を発射し
終えらると、ボルトは開放の位置で停り、マガジン
内が空になったことを示します。

安全装置は銃身下のサムセアアアを火から露に
出すとがかかります。また薬室に残弾があってもマ
ガジンをおいておけば引鉄は引けません。

分解

分解をする前に必ず安全装置を火の位置にし、
マガジンを入れ、引鉄を引いて撃発装置を解いて
おきます。マガジンをぬき①、マガジンを左手
に持ちかえて、右手人差指でファイアリングセン
・ユキキストンションを強く押しながら、コッキング
ピースを左に回してぬきとり②、ボルト後方か
らファイアリングスプリングをぬきとります。次
にマガジンを右手に持ちかえ、銃口部を堅いもの
に押しつけ③、ショートリコイルした位置にし
たまま、右手人差指でマガジンキヤッチボタンを押
し続け、左手でトリガーガードをグリップにそっ
て下に引きぬきます④、左手で銃身を握り、右
手をゆるめ銃身を前方にぬきとります⑤、銃身
後部からはボルトをぬき⑥、ファイアリングピ
ンと、リコイルスプリングもぬきとれます。組立
てはこの順序を逆にやってください。



マガジンがピースを薬室に回してぬく



トリガーガードもマガジンにそって下に引きぬく



分解図



引鉄を引いて、撃発装置を解いて、マガジンをぬく



銃口部を堅いものに押しつけておきながら、マガジンをぬく



銃身を前方にぬきとる